

岐阜県立岐阜総合学園高等学校で防災講座を行いました

令和8年6月4日（木）、岐阜県立岐阜総合学園高等学校で環境テクノロジー系列2年生7名に地震の防災講座を行いました。1週間前の水害の講座に続いての実施です。

講座では、岐阜県に甚大な被害をもたらした135年前の濃尾地震、令和6年能登半島地震など過去に発生した地震について学習し、学校周辺の揺れやすさや液状化の危険度をハザードマップで確認しました。

また、模型やペットボトルを用いた液状化実験では、仕組みや原理を友人同士で考え話し合いながら学習しました。その他、長周期地震動や五重塔・東京スカイツリーに使用されている心柱などについても、実験を通して理解を深めました。

生徒からは「実験を通して、津波だけでなく液状化のリスクがよく分かりました。」「日頃から防災グッズや避難情報を確認して準備しておきたいです。」などの感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

